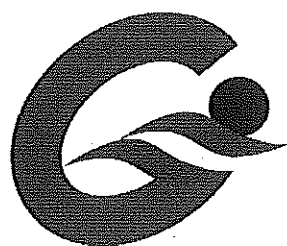


教育に関する事務の管理及び執行
の状況の点検及び評価の結果報告

(平成27年度事業)



平成28年9月

五島市教育委員会

(参考)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第1章 教育委員会及び教育委員の活動について

項 目		点検・評価
		活動内容等
1 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議の開催回数	<p>【27年度】概ね適正な開催回数である。</p> <p>【総括】概ね適正な開催回数である。</p> <p>【27年度】 定例会…12回、臨時会…2回 (前年度、定例12回、臨時4回)</p>
	② 会議の傍聴者の状況	<p>【27年度】傍聴者なし。周知に課題を要する。</p> <p>【総括】27年度より市ホームページにより傍聴の案内を掲載し改善はされているが、実績から見ると周知に課題を要する。</p> <p>【27年度】傍聴者…0人(前年度0人)</p>
	③ 議事録の公開、広報、公聴活動の状況	<p>【27年度】議事録等は市ホームページにより公開しているが、広報、広聴活動は積極的な活動、工夫を要する。</p> <p>【総括】27年度より市ホームページに議事録等は公開しており、結果についての公開等についてはできているが、広報、広聴活動については積極的な活動、工夫を要する。</p> <p>【27年度】市ホームページによる議事録、議案表(鑑)、点検・評価の結果、五島市教育振興基本計画の公開を開始した。</p>
2 教育委員会事務局との連携		<p>【27年度】毎月の定例会や各課具体的施策等の進捗状況調の作成・確認により、概ね連携、情報共有はできている。</p> <p>【総括】26年12月より作成・確認を開始した各課具体的施策の進捗状況調により各課の取組内容がより具体的に把握できるようになった。概ね連携、情報共有はできている。また、県教委連研修会時には事前にテーマ資料作成・配布を行い情報共有を図っている。</p> <p>【27年度】定例会等の会議には係長級以上が出席し、質疑等には答弁ができる体制をとっており、求められる資料等にも対応できている。</p>
3 市長との連携		<p>【27年度】教育長においては、毎週実施されている経営戦略会議で定期的に意見交換はできている。教育委員においては、総合教育会議の設置により意見交換ができる体制が整った。</p> <p>【総括】27年4月の法改正により、市長と教育委員会の協議・調整の場として「総合教育会議」が設置され、教育委員も含めた会議で市長と意見交換ができる体制が整ったことから今後、活発な連携、意見交換が期待される。</p> <p>【27年度】教育長においては、毎週経営戦略会議での意見交換、情報共有を行っている。総合教育</p>

		会議を4回開催し、大綱の策定、意見交換等を実施した。
4 教育機関等との連携	① 学校訪問	<p>【27年度】学校の実態把握に向けて定期的な訪問を実施している。</p> <p>【総括】研究発表会や五島っ子の心を見つめる教育週間等の学校行事にあわせて訪問を行ったり、定例会を学校で実施するなど学校現場との接点を増やす工夫もみられ、学校現場の実態把握に向けて取り組んでいる。</p> <p>【27年度】教育長については新任校長校訪問や研究発表、教育委員については可能な範囲で研究発表会等の学校行事にあわせて訪問を行っている。</p>
	② その他の訪問	<p>【27年度】各課行事等にあわせて教育施設の訪問を行っている。</p> <p>【総括】教育施設の実態把握のため、行事等を利用して訪問を実施しているが、片寄った施設への訪問となっている。</p> <p>【27年度】移動図書館車のセレモニー等、各課行事にあわせて訪問を行っている。</p>
	③ 校長会との連携	<p>【27年度】年度当初の校長会等へ出席し情報共有、情報交換を行っている。</p> <p>【総括】学校訪問を通し校長会との連携は図られているが、校長会の組織との連携はほとんど行われておらず課題を要する。</p> <p>【27年度】年度当初の校長会及び学校訪問の際に情報交換等を行っている。</p>
5 教育委員の自己研鑽		<p>【27年度】県教委連主催の研修会への参加や定例会の事前準備等で本市の教育状況や他市の状況を把握し、自己研鑽に努めている。</p> <p>【総括】定例会の議題や研修会のテーマなど事前準備を行うことで自己研鑽を行っているが、法改正に伴い教育長及び事務局へのチェック機能が強化されたこともあるので、県教委連主催の研修会以外の研修会への参加など研修の場の確保、充実に課題を要する。</p> <p>【27年度】県教委連の研修会への参加や定例会の事前準備等で教育行政の状況や課題を研究している。</p>

第2章 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）について

項 目	点検・評価
	活動内容等
1 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	<p>【27年度】教委課長会等において定期的に事務の進捗状況の管理や課題等を協議している。また、定例会等の際に四半期ごとに施策の執行状況を整理し教育委員の意見等を求めている。</p> <p>【総括】各課事業の進捗状況管理については定期的実施されている。また、第一期五島市教育振興基本計画の計画期間終了に伴い、第一期計画の検証を踏まえた第二期計画を策定し、方針や取り組み内容を具体化し教育行政の推進に取り組むこととしている。</p>
	<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教委課長会により事業の進捗状況や課題等の協議。 ・「平成27年度五島市の教育（施策の概要）」の冊子を作成、配布、説明。 ・第二期五島市教育振興基本計画の策定。
2 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	<p>【27年度】必要な規則等の制定、改正については、洩れなく実施している。</p> <p>【総括】必要な規則等の制定、改正については、洩れなく実施している。</p>
	<p>【27年度】「五島市教職員住宅管理規則の一部改正」ほか8件の規則及び規程の制定、一部改正を行った。</p>
3 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	<p>【27年度】富江幼稚園の廃止、岐宿地区統合小学校の開校について協議・調整を行い、円滑な事務に努めた。</p> <p>【総括】学校については、小規模校の適正配置について今後検討を要する。また、その他教育機関についても類似施設の整理など課題を要する。</p>
	<p>【27年度】五島市行政改革に基づき協議・調整を進め、富江幼稚園を平成28年3月末で廃止した。岐宿地区統合小学校については、岐宿地区統合小学校校名等策定委員会を開催し、検討・協議を行った。</p>
4 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	<p>【27年度】適正な人材の選定、人員の確保に努めている。</p> <p>【総括】適正な人材の選定、人員の確保に努めている。</p>
	<p>【27年度】27年4月1日付、事務局職員の異動ほか14件の議案を審議した。</p>

<p>5 法第26条の規定による点検及び評価に関する こと</p>	<p>【27年度】概ね法の規定どおり行われている。 【総括】概ね規定どおり行われている。報告書の公表については平成27年度より市ホームページで公表が開始され改善が図られている。 【27年度】五島市教育振興協議会において審議し、報告書を作成後、議会へ提出した。報告書については市ホームページで公表した。</p>
<p>6 法第29条に規定する意見の申出に関する こと</p>	<p>【27年度】必要な条例等の制定、改正及び予算の計上については、洩れなく行われている。 【総括】必要な条例等の制定、改正及び予算の計上については、洩れなく行われている。 28年度当初予算案1件、27年度補正予算案5件、条例案2件について、意見の申出を行った。</p>
<p>7 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機 関の敷地の選定及び変更に関する こと</p>	<p>【27年度】児童生徒の教育環境及び地域住民に配慮した学校施設の整備に努めている。 【総括】第一期五島市教育振興基本計画期間中、岐宿地区3小学校の統合及び緑丘小学校校舎改築の事業を進めてきたが、両方とも基本構想・基本計画を策定し、学校関係者等も含めた委員会において協議され、児童の教育環境及び地域住民に配慮した学校施設の整備に努めている。 27年度は事案がなかった。</p>
<p>8 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機 関の整備計画の大綱に関する こと</p>	<p>【27年度】第二期五島市教育振興基本計画の中で小中学校の耐震化など整備方針を示し、着実に推進することとしている。 【総括】岐宿地区統合小学校新校舎建設及び緑丘小学校改築の事業実施にあたり、基本構想・基本計画を策定し、委員会の設置による協議も行われているが、岐宿地区の統合では当初の開校時期が1年遅れた事実もあることから検証を十分に行い今後の課題としたい。また、安全・安心な教育環境の整備のため、第二期五島市教育振興基本計画で示した整備方針により耐震化や老朽化対策を着実に推進していく。 【27年度】第二期五島市教育振興基本計画中に方針を示した。</p>
<p>9 文化財の指定及び解除に関する こと</p>	<p>【27年度】27年度は事案がなかった。 【総括】第一期五島市教育振興基本計画期間中に事案がなかった。 【27年度】27年度は事案がなかった。</p>
<p>10 条例等に基づく委員の委嘱及び解嘱に関 する こと</p>	<p>【27年度】適正な人材の確保に努めている。 【総括】適正な人材の確保に努めている。 【27年度】各審議会委員等の委嘱及び解嘱について32件の議案を審議した。</p>

11 教育委員会の所管に属する学校の通学区域の設定及び変更に関する事	【27年度】27年度は事案がなかった。 【総括】第一期五島市教育振興基本計画期間中に事案がなかった。 【27年度】27年度は事案がなかった。
12 教育財産の取得及び処分の申出に関する事	【27年度】財産の効果的な運用に努めている。 【総括】概ね財産の効果的な運用に努めているが、廃止された教育施設の解体や利活用に課題を要する。 【27年度】 ・老朽化による岐宿教職員住宅の2棟の解体処分を行った。 ・嵯峨島教職員住宅建替えに伴う2棟4戸の取得及び1棟5戸の解体処分を行った。
13 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退の内申に関する事	【27年度】適正に措置している。 【総括】適正に措置している。懲戒処分に該当する事案はなかった。 【27年度】適正に措置している。
14 県費負担教職員の人事及び服務監督の基本的な方針に関する事	【27年度】適正に措置している。 【総括】基本方針に則して行っており、適正に措置している。 【27年度】基本方針に則して行っている。
15 県費負担教職員その他教育関係職員の研修に関する基本的な方針に関する事	【27年度】適正に措置している。 【総括】適正に措置している。 【27年度】県・市主催を合わせて、教科や領域に偏りなく実施する方法で計画した。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図るものとする。

（教育委員会の意見聴取）

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかなければならない。

第3章 本市教育の重点目標

《重点目標 1》 生きる力をはぐくみ、信頼と活気に満ちた学校教育の実現

項 目		点 検 ・ 評 価		
		活 動 内 容 等		
1 学 校 教 育 の 充 実	1 確 かな 学 力 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(1) 特 色 あ る 教 育 活 動 の 推 進	①学校組織マネジメントに基づいた組織的、継続的な学校経営の推進	<p>【27年度】学校経営方針や学校教育目標の設定100%。 【総括】全小中学校で学校組織マネジメントに基づいた組織的、継続的な学校経営の推進が図られた。今後は計画の達成率を高めていく。</p> <p>【27年度】PDCAサイクルを生かした学校経営、学校教育目標の具現化を図るための目標管理シートや学年・学級経営録の作成。</p> <p>※【PDCAとは】事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。</p>
			②学校評価を生かした学校経営の推進	<p>【27年度】学校自己評価及び学校関係者評価は100%実施。また、結果に加え、改善点を示して保護者・地域に公表している。 【総括】学校自己評価や学校関係者評価を生かした学校経営の推進ができた。今後は、改善点を次年度の学校経営に更に生かす取組を行う。</p> <p>【27年度】ホームページや学校便り等で広く広報活動を行うとともに、学校支援会議・学校評議員会での意見を積極的に学校経営に活かしている。</p>
			③地域素材の活用	<p>【27年度】郷土に誇りをもつ心を醸成するため、総合的な学習の時間を中心に地域を活用した学習を進めている。 【総括】社会科や総合的な学習の時間を中心に地域教材を活用した学習を設定している。今後もWEB版「わたしたちの五島市」等を活用しながら、学習の充実を図りたい。</p> <p>【27年度】地域素材活用の学習実施100%。</p>
			④冊子「きらりマイスクール（一校一自慢）」の作成	<p>【27年度】五島市ホームページで公開することにより、各校の取組の情報を共有し、特色ある学校づくりを推進している。 【総括】H26からホームページ「数字で見る五島市の子どもたち」内で各学校の学力向上への取り組みを公開した。今後は実践事項の検証活動を充実し、プラン改善に生かすようにする。</p> <p>【27年度】H25までに100%達成されたため、H26から「数字で見る五島市の子どもたち」へ変更し、五島市ホームページで公開している。</p>
			⑤小中高一貫教育、小中連携教育、幼保小連携教育の推進	<p>【27年度】奈留地区小中高一貫教育の継続。全地区において小中連絡会を実施。 【総括】小中併設校も9年間を見通した教育を推進し、中学校の専門性を活用した教育活動ができた。幼保小連絡協議会においては「小学校への円滑な接続」に向けた取組が進んでいる。</p>

項 目		点 検 ・ 評 価																
		活 動 内 容 等																
			<p>【27年度】奈留は12年間を見通したキャリア教育に力を注ぎ、文科省から優良校として表彰された。小中併設校3校は一貫教育という視点で乗り入れ授業にも取り組んだ。幼保小連絡協議会は各地域で連携できる活動について協議を進めており着実に成果を上げることができた。</p>															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者の評価の実施</td> <td>81.8%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>地域の歴史や伝統文化等の学習実施</td> <td>74.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	学校関係者の評価の実施	81.8%	100%	100%	地域の歴史や伝統文化等の学習実施	74.0%	100%	100%	
指 標 名	計画時数値	現状値		目標値														
	22年度	27年度	27年度															
学校関係者の評価の実施	81.8%	100%	100%															
地域の歴史や伝統文化等の学習実施	74.0%	100%	100%															
1 学 校 教 育 の 充 実	1 確 か な 学 力 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(2) 学 力 向 上 対 策 の 推 進	<p>①基礎学力向上対策事業の実施</p> <p>【27年度】全国学力・学習状況調査（国・算・数・理）では、小学生は国・算ともにA問題では全国平均とほぼ同程度、B問題では全国平均をやや下回る。中学生は、国語で全国平均より高い状況であり、国・数のABともに昨年比で上昇している。理科は、小中ともに全国比で低い状況にある。県学力調査（国・算・数）では、小中ともに算数・数学で県平均をやや下回っている。両調査から中学生になって大きく向上する傾向にある。県基礎学力調査（英語）は、引き続き県平均を上回った。（比108%）</p> <p>【総括】調査結果をもとにした各学校の授業改善により、全国平均と比較すると改善傾向にある。今後も各学校の実態に合わせたこだわりのある授業改善を進めていく。</p> <p>【27年度】結果を受けて、すべての学校で分析結果に基づいた授業改善を行っている。</p>															
		②研究指定校による研究推進	<p>【27年度】福江小、緑丘小、崎山小、富江小、玉之浦小、三井楽小、岐宿小、山内小、福江中、崎山中、三井楽中、岐宿中、奈留小中の13校を研究校と指定し、研究発表会や実践発表等で、全市立小中学校へ成果の普及に努めた。</p> <p>【総括】それぞれの研究校において、提案性の高い研究が実施されている。参観された先生方が自校の実態に応じて研究成果を還元していくことで全市的に波及させていきたい。</p> <p>【27年度】各指定校で児童生徒の実態に応じた研究を進め、学力向上につなげている。職員の協働体制強化にも役立っている。</p>															
		③小中連携教育の推進	<p>【27年度】プロジェクトGの取組においても、中学校英語教師が小学校に兼務するなど、英語教育の充実に向けて小中の連携が深まった。</p> <p>【総括】すべての学校において、小中連絡会を実施し、情報の共有化を図ることができた。また、小中学校の枠を超えた授業公開の場を設定し、学力向上の面においても小中学校の教職員同士の連携強化に努めることができた。</p>															

項 目		点 検 ・ 評 価												
		活 動 内 容 等												
			【27年度】小学校の6年生担任、養護教諭が中学校を訪問し、入学生の情報交換を全校区で行った。(小中連絡会100%実施)											
		④学校訪問による指導の充実	【27年度】計画に沿って訪問し、授業改善や学校(園)運営の強化につなげている。 【総括】新任校長訪問、指導訪問、帳簿訪問などそれぞれの目的に応じた指導ができた。今後は、指導の視点を更に明確にし、学校(園)に応じた細かな指導に努める。											
			【27年度】2校の新任校長校と3校の学校訪問を実施し、学校運営や授業後の直接指導等の助言を行った。											
		⑤学習支援事業の実施	【27年度】県の学習支援チーム派遣事業が平成25年度に終了しており、その後の活用継続は難しい。 【総括】県の事業終了とともに人材や予算確保が難しく、継続が困難であった。今後、土曜授業をはじめ、検討課題に挙げられる。											
		【27年度】小学校1校において、地域の人材を活用した学習支援を行った。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職教員など地域人材を活用した授業の学習支援実施</td> <td>19.0%</td> <td>13.3%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	退職教員など地域人材を活用した授業の学習支援実施	19.0%	13.3%	50.0%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値											
	22年度	27年度	27年度											
退職教員など地域人材を活用した授業の学習支援実施	19.0%	13.3%	50.0%											
1 学校教育の充実	1 確かな学力をはぐくむ教育の推進	(3) 特別支援教育の推進	①特別支援教育の校内体制整備	【27年度】校内委員会の設置及び特別支援教育コーディネーターの指名は100%完了。校内体制の整備により教育効果を高めた。 【総括】校内支援体制が整備されるとともに、H27年度に五島市地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会が設置された。このことから校内体制充実に向けた支援体制が整った。										
			②特別支援教育を推進するため環境整備	【27年度】以下のような取組により、校内での推進環境及び市全体としての推進環境の整備を続けており、支援を要する児童生徒への教育効果を高めた。 【総括】人的配置及び個に応じた学びの場の提供により、支援を要する児童生徒へのきめ細やかな対応ができています。										
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市校長会、教頭研修会等での依頼 ・校内支援体制に関する調査の実施 ・学校訪問時の指導 ・校内研修への講師派遣 ・特別支援教育コーディネーター研修会の開催 										

項 目			点 検 ・ 評 価
			活 動 内 容 等
			<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の配置 (15校、1園：30名) ・市教委担当による教育相談の実施 ・特別支援学級の設置 市内22校33学級64名が在籍 ・通級指導教室の設置 福江小(27年度33名が通級) 緑丘小(27年度16名が通級) 福江中(27年度53名が通級)
		③就学相談・指導の充実	<p>【27年度】平成27年度就学相談を受けた新就学児数40名、早期相談児25名と就学相談及び指導が充実した。</p> <p>【総括】相談者については、適正な就学につなげることができているが、家庭環境等に起因する相談への対応は関係機関との連携など課題が見られる。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学相談員(嘱託員)の配置 ・早期就学相談(0歳児から)の継続 ・市就学相談会の開催(1回) ・市・県保健部局との連携強化 ・特別支援学校分校との連携強化 ・就学時健康診断の際に「就学相談コーナー」を設置 ・5歳児健診(年16回) ・プレスクール(年10回)
		④特別支援学校分校との連携 ※平成27年度より鶴南特別支援学校五島分校に変更	<p>【27年度】福江小学校との合同行事(遠足・運動会等)、居住地校交流、市内小・中学校特別支援学級との交流会等を開催。また、高等部同様、各種行事の参観やセンター的機能の活用等、教師同士が密接に連携をとることができている。</p> <p>【総括】「同じ五島市の子ども」という視点で、児童生徒の交流活動を通してスムーズな連携ができている。特別支援学校の教育相談を利用する園・学校が増加し、指導力の向上につながっている。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学説明会への参加、就学相談資料の提供(小・中学部) ・入学式・卒業式への参加、体育祭・文化祭の参観(全学部) ・学校見学会や体験入学等の参観 ・特別支援学校のセンター的機能を活用した教育相談の実施(全学部)

項 目		点 検 ・ 評 価												
		活 動 内 容 等												
		⑤研修会の実施	<p>【27年度】市主催の研修会の実施及び県主催の研修会への参加により校内支援体制が強化されている。</p> <p>【総括】五島市地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会実務者会（コーディネーター代表者）の企画により年3回研修会を実施している。ボトムアップ型で満足度の高い研修会となってきている。</p>											
			<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五島市地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会研修会（年3回）及び代表者会（年2回）、実務者会（年3回） ・市新任特別支援教育コーディネーター研修会（年1回） ・県新任特別支援学級担任・通級指導教室担当者等研修講座（年3回：希望者参加可） ・県特別支援教育スキルアップ研修会（年1回） 											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育校内体制整備</td> <td>98.3%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	特別支援教育校内体制整備	98.3%	100%	100%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値											
	22年度	27年度	27年度											
特別支援教育校内体制整備	98.3%	100%	100%											
1 学 校 教 育 の 充 実	1 確 か な 学 力 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(4) 国 際 理 解 教 育 の 推 進	<p>①小学校における外国語活動の推進</p> <p>【27年度】5・6年生の年間授業の約89%を指導している。</p> <p>【総括】平成26年度からプロジェクトGが始動し、学校からのALTのニーズが高まっている。ALTの一名増員も叶い、配置率も年々向上し、教員の実践や研究も深まっている。英語に慣れ親しみ、英語を通じて自分自身を表現する機会が増え、コミュニケーション能力が徐々に向上している。引き続き、英語学習の充実を目指す。</p>											
			<p>②教育課程に位置づけた国際理解教育推進体制の確立</p> <p>【27年度】教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の学校教育全体を通じて体制を確立している。</p> <p>【総括】国際理解教育を、英語科や外国語活動だけではなく、教育課程に位置づけ、学校教育全体を通じて、計画的・組織的に行っている。</p>											

項 目		点 検 ・ 評 価											
		活 動 内 容 等											
			<p>【27年度】学校教育全体を通じて、横断的に国際理解教育を推進している。特に、社会科や道徳、総合学習において、日本と関係の深い国の文化や歴史を学んで比較したり、総合的な学習で、文化的行事を学習したり、ほとんどの学校で国際理解に関する内容を仕組んでいる。</p>										
		③児童生徒の発達段階や教科・領域の特質に応じた指導の推進	<p>【27年度】児童生徒の実態や教科・領域の特質に応じて、指導目標を明確にし、目標実現のための具体的な活動を設定している。</p> <p>【総括】平成26年度から始めたプロジェクトGの推進もあり、児童の実態にあわせ、小学校から英語科、外国語活動の教育課程を作成し、指導目標を明確にした学習活動を行っている。中学校の英語科教員が小学校の英語の授業に乗り入れ、小学校の英語学習を理解し、中学校英語科教育の充実に努めている。今後も英語教育の改善・充実に目指した取組を展開する。</p> <p>【27年度】各教科や領域において、児童生徒の発達段階に応じて、実践的コミュニケーション能力の育成を図っている。また、外国に関する学習を通して、異文化理解に努めている。</p>										
		④国際理解教育の推進	<p>【27年度】教科や総合的な学習の時間等、日本や外国の文化・歴史に対する理解を深める教育を実践している。</p> <p>【総括】学校教育全体を通じて、異文化理解や交流を行い、理解を深めている。平成27年度からALTを1名増員することで、児童生徒がじっくりとALTと関わる機会が増え、異文化に対する興味関心を高める役割を果たしている。今後、ALTの持ち味や特技を生かした、より効果的な活用法を工夫していく。</p> <p>【27年度】各校において、ALTが体験した国の紹介を全校集会で行ったり、モジュールの時間を活用して、外国の挨拶や生活習慣の紹介を行うなど、工夫した国際理解教育を推進している。積極的にALTとの交流の場を設定して、授業以外でも、日本や外国の文化・歴史に対する理解を深める教育を実践している。</p>										
		指 標 名	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校外国語活動へのALT配置率</td> <td>60.0%</td> <td>89.0%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	小学校外国語活動へのALT配置率	60.0%	89.0%	80.0%
計画時数値	現状値	目標値											
22年度	27年度	27年度											
小学校外国語活動へのALT配置率	60.0%	89.0%	80.0%										

項 目		点 検 ・ 評 価												
		活 動 内 容 等												
1 学 校 教 育 の 充 実	1 確 かな 学 力 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(5) 情 報 教 育 の 推 進	①コンピュータの整備	<p>【27年度】市全体の平均で児童生徒約3.4人につき1台、教職員はほぼ1人に1台のコンピュータを配置している。</p> <p>【総括】文部科学省が示す整備計画(H29まで)の達成に向けて、整備が進んでいる。</p>										
			②情報活用能力の育成	<p>【27年度】市総合計画(電子黒板を2学級に1台)に基づいて配備完了した。</p> <p>【総括】各教科、領域において、情報活用能力を意識した取組が実施されている。今後もICT機器整備に併せ、情報活用能力の充実を図る。</p>										
			③教職員研修の充実	<p>【27年度】83%の教員が授業でICTを活用することができる。市では、ICT教育関係支援員を学校に派遣し、電子黒板等の活用研修を進めた。</p> <p>【総括】ICT教育関係支援員の関わりや校内研修の充実により、ICTを活用できる教員が増加した。今後は、さらに授業改善に生かすようにする。</p>										
			④情報モラルの育成	<p>【27年度】82%の教員が、情報モラルについて効果的に指導することができる。</p> <p>【総括】道徳や総合的な学習の時間を中心に情報モラルを含めた情報教育を推進することができた。今後は、保護者や地域との連携も含めた情報モラルの育成を進める。</p>										
			<p>【27年度】各学校においては、発達段階に応じて情報発信や著作権、プライバシー保護等の情報モラルに関する内容を授業で取り扱い、指導を進めている。</p>											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業でICTを活用できる教員</td> <td>60.7%</td> <td>83%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	授業でICTを活用できる教員	60.7%	83%	100%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値											
	22年度	27年度	27年度											
授業でICTを活用できる教員	60.7%	83%	100%											

項 目		点 検 ・ 評 価															
		活 動 内 容 等															
1 学 校 教 育 の 充 実	1 確 か な 学 力 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(6) キ ャ リ ア 教 育 の 推 進	①児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進	<p>【27年度】全中学校において全体計画が作成され指導の系統性が確保されている。今後は小中連携を意識した系統的・体系的な取組が必要である。</p> <p>【総括】校内研修においてキャリア教育を扱う学校は増えてきたが、系統的な教育については充分ではない。そのため、市教委主催の教務主任研修会等において、奈留小中の実践を紹介した。第二期計画においても継続的に取り組む。</p> <p>【27年度】キャリア教育について職員向け研修会の実施を促した。 <実施率>小学校26.3% 中学校54.5%</p>													
			②職場見学や職場体験の充実	<p>【27年度】小学校68.4%、中学校90.9%</p> <p>【総括】キャリア教育の重要性が認識され多くの学校で職業に関する学習が行われた。小中ともに目標は達成できた。今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>【27年度】小学校でもキャリア教育を意識した職場見学等が増加した。</p>													
			③適切な進路指導の充実	<p>【27年度】社会人招聘講演会実施率 小学校21.1%、中学校72.7%</p> <p>【総括】講師不足に悩む学校もあったが、学校支援会議の知恵をかりるなどして、「夢・憧れ・志」を育む教育が進められた。今後も「社会に開かれた教育課程」により更なる発展が望まれる。</p> <p>【27年度】学校支援会議との連携により地域で活躍する人材の活用を進めてきた。</p>													
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生の職場見学実施率</td> <td>15.8%</td> <td>68.4%</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>中学校での社会人招聘講演会実施率</td> <td>25.0%</td> <td>72.7%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	小学生の職場見学実施率	15.8%	68.4%	25.0%	中学校での社会人招聘講演会実施率	25.0%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値														
	22年度	27年度	27年度														
小学生の職場見学実施率	15.8%	68.4%	25.0%														
中学校での社会人招聘講演会実施率	25.0%	72.7%	50.0%														

項 目		点 検 ・ 評 価		
		活 動 内 容 等		
1 学 校 教 育 の 充 実	2 豊 かな 心 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(1) 道 徳 教 育 の 推 進	①命を大切にし、 他者を思いやる心 豊かな「五島っ 子」の育成	<p>【27年度】市内全幼・小・中学校で「五島っ子の心を見つめる教育週間」を設定して特色ある活動を仕組むとともに、いじめを許さない学校風土づくりを着実に進めることができた。</p> <p>【総括】市内幼・小・中学校で保護者や地域を巻き込んだ取組ができた。取組に硬直化した面が見られるので、研修会等での指導や情報交換をとおして、より充実したものにしていける。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全幼・小・中学校で心を見つめる教育週間設定 ・学校公開時の授業参観の実施 ・学校指導訪問時の指導の実施 ・五島っ子さわやか運動の推進 ・地域と連携した教育活動の創造
			②道徳の時間の確保と授業内容の改善・充実	<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間は確保されている。 ・授業改善に取り組むとともに、道徳の教科化に向けた準備・研修もスタートさせた。 <p>【総括】時間の確保は100%達成。道徳推進教師研修会や保護者や地域への授業公開をとおして、一定の授業改善はできた。今後は道徳の教科化に向けて、年間計画作成や「考え、議論する」指導の転換を図っていく。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校指導訪問時に道徳授業の指導を実施 ・福江中学校を「心の教育」研究校に指定し研究推進を図った。
			③体験的活動を通して道徳的実践力の育成	<p>【27年度】各教科、領域、総合学習や外国語活動等において学習内容と関連させた体験活動が行われ、道徳的実践力の育成に努めている。</p> <p>【総括】各教科、領域、総合学習や外国語活動等において学習内容と関連させた体験活動を計画的に実施できた。今後は、道徳の教科化により質的転換を図りながら、道徳的実践力の育成に努める。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で社会奉仕活動を実施 ・中学校に加え、小学校でも「職場体験活動」を実施
			④感性をみがく教育の充実	<p>【27年度】各学校において児童生徒の心に響く体験的活動が工夫・実施され、感性の醸成が図られている。</p> <p>【総括】児童生徒の心に響く体験的活動により、感性の醸成が図れてきた。今後も豊かな体験活動をとおして感性をみがく教育を推進していく。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会奉仕活動は全ての学校で実施 ・自然体験活動は8割近くの学校で実施 ・文化芸術体験活動は90%以上の学校で実施 ・異文化、異年齢、異校種間体験は97%実施

項 目		点 検 ・ 評 価																	
		活 動 内 容 等																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道徳授業の教育週間における公開率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>ボランティア活動の実施率</td> <td>65.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	道徳授業の教育週間における公開率	100%	100%	100%	ボランティア活動の実施率	65.0%	100%	100%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																
	22年度	27年度	27年度																
道徳授業の教育週間における公開率	100%	100%	100%																
ボランティア活動の実施率	65.0%	100%	100%																
1 学 校 教 育 の 充 実	2 豊 か な 心 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(2) 読 書 活 動 の 推 進	①学校図書館の整備充実	<p>【27年度】1人あたりの1ヶ月貸出冊数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校16.2冊（前年度17.1冊） ・中学校1.8冊（前年度7.1冊） <p>【総括】中学校での貸出冊数が大幅に下がった原因は次の2点。①しっかり読むを強化したこと ②これまで朝読書の時間を毎日設定している学校が多かったが、次第に学力向上のための朝自習を設定する学校が増えたこと。 今後は家庭読書の推進も必要である。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数だけを伸ばす取組から、じっくり読ませることへ移行。 ・「不読者0」を目標に取り組むこととした。 ・計画的な図書を購入・廃棄を実施している。 															
			②学校図書館支援員の配置、読書ボランティア活用事業	<p>【27年度】支援員3名の継続配置。読み聞かせ等も実施。</p> <p>【総括】学校図書館支援員は拠点校を中心に担当校(9校)の支援にあたるようにしているが、拠点校以外の派遣要請が少ない状況であった。今後は要請にかかわらず、担当校を定期的に回るようなシステムの構築が必要である。</p> <p>【27年度】拠点校を中心に読書活動の推進に努め、市教研図書部会に参加するなどして五島市全体へのかかわりを図っている。</p>															
			③「朝の読書」、「全校一斉読書」の定着	<p>【27年度】朝読書は小学校、中学校ともに100%ではあるものの学力向上に向けて朝自習も行っており、毎日ではない。</p> <p>【総括】各学校においては、学力向上への取組、英語活動や生徒会活動の充実など、様々な活動をしており、朝読書の時間確保が難しい状況になっている。今後は朝に限定せず、一斉読書の時間設定を推進していく必要がある。</p> <p>【27年度】全小中学校で朝読書を実施している。崎山地区では中学生が小学校に出向いて読み聞かせ活動を実施した。</p>															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生1か月の読書量</td> <td>18.9冊</td> <td>16.2冊</td> <td>20冊</td> </tr> <tr> <td>中学生1か月の読書量</td> <td>4.2冊</td> <td>1.8冊</td> <td>7冊</td> </tr> </tbody> </table>			指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	小学生1か月の読書量	18.9冊	16.2冊	20冊	中学生1か月の読書量	4.2冊	1.8冊	7冊
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																
	22年度	27年度	27年度																
小学生1か月の読書量	18.9冊	16.2冊	20冊																
中学生1か月の読書量	4.2冊	1.8冊	7冊																

項 目			点 検 ・ 評 価	
			活 動 内 容 等	
1 学 校 教 育 の 充 実	2 豊 か な 心 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(3) い じ め ・ 不 登 校 対 策 の 充 実	①教職員の指導力の向上	<p>【27年度】スクールカウンセラーの活用などが、いじめ・不登校等への対応力の向上に効果を上げている。</p> <p>【総括】スクールカウンセラーの配置校が増え、専門的な助言を定期的にいただくことが可能となり、学校の対応力向上に結びついている。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県カウンセラー配置事業（8校） ・ 県カウンセラー派遣事業（未配置校） ・ 県カウンセリングリーダー養成研修への参加（3名）
			②相談体制の整備充実	<p>【27年度】関係機関との連携をさらに進めていく必要がある。</p> <p>【総括】五島市相談員等連絡会において、相談業務にかかる市内関係機関担当者が研修や情報共有を行い、連携が図られてきている。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心の教室相談員の配置（2名） ・ 県スクールソーシャルワーカー配置事業の活用（1名） ・ 県カウンセラー配置事業（8校） ・ 市相談員等連絡会（年5回）
			③適応指導教室における支援の充実	<p>【27年度】平成22年4月に開設し、登校できない児童生徒に指導を実施。自信回復など効果を上げている。また、対象者対処のほか、長期休業中に対象者予備軍への働きかけによる予防の取組を継続実施した。</p> <p>【総括】不登校児童生徒の引きこもり防止及び長期休業中の予防対策として重要な役割を果たしている。</p>
				<p>【27年度】通室生徒3名に対し、体験活動や学習支援を指導員2名により実施。また、長期休業中に通級指導教室通室児童生徒を対象に学習会を実施し、のべ20名が158時間参加。</p>
			④小・中学校の連携・交流の強化	<p>【27年度】小・中学校の連携強化が図られているにもかかわらず、様々な理由により中1不登校生徒が6名あった。今後も継続し、中1ギャップの未然防止に努める。</p> <p>【総括】各中学校区において、合同行事や学力向上など小中連携が進んできている。しかし、引継ぎの在り方も含め、今後継続した研究が必要である。</p>
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内中学校で入学説明会の実施 ・ 小中合同行事等による交流活動 ・ 中1ギャップ対応資料配布 ・ 市校長会への依頼 ・ 各種研修会で中学校区毎の地区別協議の実施

項 目		点 検 ・ 評 価																	
		活 動 内 容 等																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒数</td> <td>1.5%</td> <td>1.1%</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数</td> <td>14件</td> <td>230件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成25年9月に「いじめ」の再定義がされ、より広範な認知が求められるようになった。(27年度：230件のうち解消率91.7%)</p>			指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	不登校児童生徒数	1.5%	1.1%	0.7%	いじめ認知件数	14件	230件	0件
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																
	22年度	27年度	27年度																
不登校児童生徒数	1.5%	1.1%	0.7%																
いじめ認知件数	14件	230件	0件																
1 学 校 教 育 の 充 実	2 豊 か な 心 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(4) 人権教育の 推進	①人権教育に関する全体計画、年間計画の見直し	<p>【27年度】市内全小・中学校において見直し、職員会議等で検討し作成している。</p> <p>【総括】すべての学校が見直しを図った人権教育の全体計画を学校要覧に掲載している。</p> <p>【27年度】学校要覧及び年間指導計画の提出</p>															
			②教職員研修の充実	<p>【27年度】関係機関と連携し、教職員研修の充実を図っている。</p> <p>【総括】研修会については、県教委や県人教・五人教と連携を図り、職員参加、派遣協力を行っている。今後は、教職員全体の研修の充実を図るため、県教委発行の啓発資料「人権教育をすすめるために」等を活用し、近年の人権課題について校内研修の実施を図る必要がある。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五島人権教育研究会への協力 ・県人権教育研究会への職員派遣協力 															
			③学校、家庭及び地域（関係機関）連携の推進	<p>【27年度】人権の花運動等を実施し、また、その様子を市人権フェスタで紹介するなど連携を推進している。</p> <p>【総括】関係機関と連携し、人権の花運動や中学生人権メッセージなどの活動を行い、市人権フェスタで地域へ紹介している。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市人権フェスタでの中学生人権メッセージ色紙展示 ・人権の花運動（人権擁護委員協議会） 															
			④男女共同参画に関する教育の推進	<p>【27年度】今後、教職員研修の充実を図る必要がある。</p> <p>【総括】男女の平等、男女の相互理解と協力は学校教育活動全体で、家庭生活の大切さについては家庭科を中心に教育を推進している。</p> <p>【27年度】男女共同参画に関する研修（教職員対象）は約2割の学校で実施。</p>															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権・同和教育の校内研修実施校</td> <td>50.0%</td> <td>93.3%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	人権・同和教育の校内研修実施校	50.0%	93.3%	100%		
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																
	22年度	27年度	27年度																
人権・同和教育の校内研修実施校	50.0%	93.3%	100%																

項 目		点 検 ・ 評 価																
		活 動 内 容 等																
1 学 校 教 育 の 充 実	2 豊 かな 心 を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(5) ふ る さ と を 学 ぶ 教 育 の 推 進	①ふるさとに関する学習教材の充実	<p>【27年度】地域を素材とした学習は小中学校100%実施。 【総括】社会科や総合的な学習を中心に「わたしたちの五島市」を活用した授業が展開されている。今後は、WEB版のデータの更新を進め、より現状を理解できるようにする。</p> <p>【27年度】Web教材「私たちの五島市」を全小中学校が活用している。</p>														
			②教職員研修会の実施	<p>【27年度】H26までは初任者研修で実施していたが、拠点校方式への変更に伴い、農業体験を廃止した。 【総括】初任者研修で実施していた農業体験研修が拠点校方式への変更に伴い廃止された。しかし、若手教職員研修や10年経験者研修における社会貢献活動研修、社会体験研修に取り入れられている。</p> <p>【27年度】初任者研修、若手教職員研修において、社会貢献活動研修を取り入れている。</p>														
			③学校教育活動における伝統芸能に係わる体験機会の拡充	<p>【27年度】伝統芸能にかかわる体験をしている学校は70%。 【総括】地域の伝統行事等を体験する機会は増えてきている。今後も地域の良さを体験することができるよう連携を深める。</p> <p>【27年度】ヘトマトや各地域に伝わる踊り、ソーラン踊り（例：福中ソーラン）等を実施している。</p>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験的な学習を取り入れた環境教育の実施校</td> <td>90.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>伝統芸能の体験機会を設定している学校</td> <td>19.3%</td> <td>70%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>				指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	体験的な学習を取り入れた環境教育の実施校	90.0%	100%	100%	伝統芸能の体験機会を設定している学校	19.3%	70%	50.0%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値															
	22年度	27年度	27年度															
体験的な学習を取り入れた環境教育の実施校	90.0%	100%	100%															
伝統芸能の体験機会を設定している学校	19.3%	70%	50.0%															
		(6) 子どもたちの文化活動の推進	①子どもたちの文化活動を推進するための施策の改善・充実	<p>【27年度】市小中学校音楽発表会参加率は100%。子ども県展への出品率も100%。 【総括】学校行事の精選により文化祭を実施しない学校が殆どである。そのことを考えると、今後も市内合同の音楽発表会や市内児童生徒作品展、子ども県展への取組は継続させ、参観者数確保を目的とした広報活動や児童生徒参観のためのバス予算確保に努めていく必要がある。</p> <p>【27年度】市教研の国語部会、造形部会との連携を図り、市内児童生徒作品展を実施した。また、受付業務には五島高校の協力を仰ぐことができた。</p>														

項 目		点 検 ・ 評 価			
		活 動 内 容 等			
	②学校文化関係団体への支援	<p>【27年度】小学校の市音楽発表会、NHK合唱コンクール、中学校の市音楽発表会、創造アイデアロボットコンテスト、吹奏楽コンクール参加に係る補助金を設定している。</p> <p>【総括】創造アイデアロボットコンテストにおいては、全国大会に出場するなど、大きな成果を上げている。今後も継続的な支援が必要である。</p>			
		<p>【27年度】県中学校文化連盟に加盟しており、文化活動を推進した。28年度には県学芸文化課主催の「文化カステージアップセミナー」に7校が参加予定。</p>			
		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値
		22年度	27年度	27年度	27年度
		五島市小中学校音楽発表会参加校	85.0%	100%	100%

項 目		点 検 ・ 評 価												
		活 動 内 容 等												
1 学 校 教 育 の 充 実	3 健 や か な か ら だ を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(1) 学 校 体 育 ・ ス ポ ー ツ の 推 進	①保健体育授業の充実 【27年度】岐宿小学校研究指定の実践を各校に広げる。県体育保健課事業「体育学習サポーター派遣」の活用を実施。特に水泳、武道中心に実施。 【総括】県の派遣事業等を活用したり、研究会等を通じて授業改善が進んだことにより、教員の指導力向上が図られた。アクションプラン改善のための取組にはさらなる改善が必要である。 【27年度】体力向上アクションプランを各学校で作成し、実践している。											
			②体力向上の促進 【27年度】小5では5/16項目、中2では8/18項目で全国T得点を上回っているが、前年度を下回る結果となった。 【総括】目標到達には大きな差があり、改善の余地がある。分析結果をもとに各学校における対策をさらに強化する必要がある。 【27年度】文科省配布の「活用シート」による個々の体力の現状把握と保護者への提供。											
			③健全育成をめざした部活動の活性化 【27年度】中学校部活動における外部指導者数は29名。指導にかかわる日数の増加が課題である。 【総括】健全な部活動の在り方について外部指導者向けの研修会への参加が少ない。また、少子化による部活動存続問題も喫緊の課題となっている。 【27年度】生徒数減少に伴い集団競技の部活動が成り立たない状況がある。合同部活動の規制緩和について県中体連へ働きかけていく。											
			④学校体育関係団体の支援の充実 【27年度】中体連大会参加旅費補助率100% 【総括】保護者の経済的負担の軽減のため、補助率100%は大変ありがたい結果である。無駄のない、適正な支出が求められる。 【27年度】適正な補助の実施。											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国体力運動能力調査全国T得点を上回る項目</td> <td>20/34項目</td> <td>13/34項目</td> <td>全項目</td> </tr> </tbody> </table>		計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	全国体力運動能力調査全国T得点を上回る項目	20/34項目	13/34項目	全項目
	計画時数値	現状値	目標値											
	22年度	27年度	27年度											
全国体力運動能力調査全国T得点を上回る項目	20/34項目	13/34項目	全項目											
1 学 校 教 育 の 充 実	3 健 や か な か ら だ を は ぐ く む 教 育 の 推 進	(2) 健 康 教 育 と 食 育 の 推 進	①健康教育の推進 【27年度】学校保健委員会2回以上開催率66.7% (20/30)。1回以上開催は96.7%。 【総括】2回以上の開催が増加し、良い傾向と言えるが、目標の80%まで達しなかった。学校三師との日程調整を早期に計画することが必要であった。 【27年度】学校保健委員会の開催回数の増加。											

項 目		点 検 ・ 評 価												
		活 動 内 容 等												
	②学校における食育の推進	<p>【27年度】年間指導計画の作成及び担当者の位置づけ100%。 【総括】体制づくりは整っているが。内容の充実や栄養職員のさらなる活用をすることが必要である。</p> <p>【27年度】食育担当者研修会の開催、地区別食育推進委員会の開催（各地区2～3回）</p>												
	③食への関心を高める学校給食の工夫	<p>【27年度】米を含む地場産物使用割合74.2%（給食センター統計11月、2月の平均） 【総括】目標の65%を越えており、今後も維持を目指す。</p> <p>【27年度】栄養教諭、学校栄養職員を活用した食育指導の実践</p>												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校保健委員会の開催率（年2回）</td> <td>45.2%</td> <td>66.7%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	学校保健委員会の開催率（年2回）	45.2%	66.7%	80.0%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値											
	22年度	27年度	27年度											
学校保健委員会の開催率（年2回）	45.2%	66.7%	80.0%											

項 目		点 検 ・ 評 価			
		活 動 内 容 等			
1 学 校 教 育 の 充 実	4 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り の 推 進	(1) 教 職 員 の 資 質 向 上	①教職員研修の充 実	<p>【27年度】内容を工夫しながら各種研修会を開催した。管理職研修は、今日的課題を重視し月例で開催するとともに、研修内容のマンネリ化防止を意識してきた。管理職員候補者研修会や臨時的任用教職員学習会を校長会・教頭会と連携して実施。</p> <p>【総括】定例研修や経年研修だけでなく、学力向上やプロジェクトG、道徳推進教師等の研修会など、時機に応じた研修を計画的・継続的に実施し、教職員の資質向上を図った。今後も道徳の教科化を含む次期学習指導要領に関する研修などより一層の充実を図っていく。</p> <p>【27年度】校長・園長会、教頭・主幹教諭研修会、教務主任研修会、管理職員候補者員研修会等の実施</p>	
			②研究校の指定	<p>【27年度】小中13校（小8校・中4校・小中1校）を研究校に指定した。</p> <p>【総括】市内の半数に近い学校が何らかの研究指定を受け、その内容充実に向けて努力することができた。今後も意図的、計画的な指定を行う。</p> <p>【27年度】6校で研究発表会を開催（福江小、崎山小、玉之浦小、三井楽小、岐宿小、崎山中）</p>	
			③校内研修の支援	<p>【27年度】24の学校に延べ70回指導主事を派遣し、指導助言を行った。</p> <p>【総括】学校の要請に従い、研究指定の有無にかかわらず、指導助言を行うことができた。授業公開への意欲向上に貢献することができた。</p> <p>【27年度】校内研修や研究発表会による指導助言や教員の授業を参観しての指導助言の実施。</p>	
			④教職員の資質向上に向けた人事評価結果の活用	<p>【27年度】面談や指導助言を通して、職員の資質向上に努めた。</p> <p>【総括】目標管理制度による当初・中間面談の実施及び自己目標管理シートへの指導助言を通して、教職員の資質向上を図った。今後は前年度の結果を踏まえた総合的な指導・助言を行っていく。</p> <p>【27年度】目標管理制度による当初・中間面談の実施及び自己目標管理シートへの指導助言の実施。</p>	
		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値
			22年度	27年度	27年度
		研究指定校	16.0%	48.1%	30.0%

項 目		点 検 ・ 評 価	
		活 動 内 容 等	
1 学 校 教 育 の 充 実	4 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り の 推 進	(2) 職 員 の 協 力 体 制 の 確 立	①校務事務のIT化の推進 【27年度】校務支援システムの利用率は100%。 【総括】校務支援システムを開発、運用することにより事務の効率化が図られている。システムの不具合を少しでも減らし、改善を加えていくことが今後の課題である。
			②事務の共同実施の推進、事務の集約化・効率化 【27年度】共同実施により、事務処理等の適正化及び効率化が図られてきている。 【総括】継続的な取組により、年々事務の共同実施が充実し、事務の集約化・効率化が図られている。今後も教職員の負担軽減に貢献できる業務について検討し、取り組んでいく。
			【27年度】事務職員未配置校（2校）の支援をはじめ、新任事務職員（3名）の指導に大きく寄与している。また、教員の負担軽減を図る取組は、一部の学校で実施している。（教科書給与事務等）

指 標 名	計画時数値	現状値	目標値
	22年度	27年度	27年度
校務IT化実施校（小中学校）	9.6%	100%	100%

1 学 校 教 育 の 充 実	4 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り の 推 進	(3) 開 か れ た 学 校 づ く り	①学校開放の実施 【27年度】保護者・地域への学校開放実施率は100%。地域連携担当者を置く学校は5割を超え、地域と連携して教育活動を創造する姿勢が強まっている。 【総括】保護者や地域に学校を開放し、連携・協力することで開かれた学校づくりが充実した。今後はさらに発展させ、「地域とともにある学校」づくりを推進していく。
			②地域人材の活用 【27年度】小学校100%、中学校100% 【総括】各種行事や総合的な学習の時間などに地域人材の活用が図られた。故郷への愛着や勤労観・職業観の育成に効果的である。これからも積極的に人材活用を進めていく。
			③学校評議員制度や学校支援会議の効果的活用 【27年度】学校教育活動に対する評価や助言が適切に行われる環境が整っている。また、両組織を中心とした学校サポーターによる学校支援活動も充実してきている。 【総括】学校評議員制度や学校支援会議を効果的に活用することにより、開かれた学校づくりを推進することができた。

項 目		点 検 ・ 評 価												
		活 動 内 容 等												
			<p>【27年度】両組織の組織率は100%。両組織共に年間2～3回開催され、学校への適切な助言が行われている。</p>											
		④学校評価の実施	<p>【27年度】自己評価は殆どの学校で毎学期ごとに実施されており、結果をもとに経営戦略が練られている。</p> <p>【総括】学校自己評価や学校関係者評価を生かした学校経営の推進ができた。今後は、改善点を次年度の学校経営に更に生かす取組を行う。</p> <p>【27年度】外部からの助言を学校経営に活かし、学校課題の改善に向かうPDCAサイクルが定着している。</p>											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者評価の実施</td> <td>81.8%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	学校関係者評価の実施	81.8%	100%	100%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値											
	22年度	27年度	27年度											
学校関係者評価の実施	81.8%	100%	100%											

項 目		点 検 ・ 評 価										
		活 動 内 容 等										
1 学 校 教 育 の 充 実	5 安 全 ・ 安 心 で 快 適 な 学 校 づ く り の 推 進	(1) 安 全 教 育 の 推 進	①学校及び登下校時の安全確保等のための対策の充実 【27年度】関係機関・地域の団体・PTA等と連携した児童生徒の登下校見守りは全学校で行われている。また、カリキュラムに位置付けた「防災教育」も、全ての学校で計画的・意図的に実施されている。 【総括】学校での安全指導等により児童生徒の交通安全意識が高まり、交通事故発生件数も減少してきた。また、通学路安全推進会議の通学路合同点検などにより、通学路の安全確保に努めてきた。 【27年度】交通事故発生件数4件（26年度 5件）。市内小中学校全てで通学路の安全点検実施。									
			②各種訓練や防犯教室の実施 【27年度】継続的な実施を進める。 【総括】各学校における各種訓練は充実している。今後は地域ぐるみでの安全対策の充実が必要である。 【27年度】各種訓練（火災45回、不審者対応20回、地震・津波対応27回）の実施。									
			③安全教育に係る研修会等の開催 【27年度】各学校単位での研修会実施80% 【総括】学校管理体制の強化のため、研修会の実施は充実している。今後は学校内外において危険予知能力を高める安全教育の充実が求められる。 【27年度】県、市主催の安全管理研修会への出席を奨励した。									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通事故発生件数</td> <td>12件</td> <td>4件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>		指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	交通事故発生件数
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値									
	22年度	27年度	27年度									
交通事故発生件数	12件	4件	10件									
1 学 校 教 育 の 充 実	5 安 全 ・ 安 心 で 快 適 な 学 校 づ く り の 推 進	(2) 安 全 管 理 の 徹 底	①学校の実態に応じた学校安全計画の策定 【27年度】自校独自の危機管理マニュアル策定100%。 【総括】100%策定は良い結果と言える。 【27年度】年度ごとの更新を図った。									
			②安全の日の設定 【27年度】安全点検実施は100% 【総括】実施率100%は良い結果と言える。また、安全の日の意義や充実した取組ができている。 【27年度】月1回の安全の日設定とそれに合わせた安全点検の実施の推進									
			③地域ぐるみの学校安全体制の推進 【27年度】教育週間期間中、学校内外の巡回を実施。また、スクールガードリーダーが週2回程度の割合で市内小中学校を巡回。各学校の実施率は96.7%。 【総括】実施率96.7パーセントは良い結果と言える。教育週間に限らず、定期的な巡回も必要。 【27年度】県内一斉防犯パトロール参加の啓発、「心を見つめる教育週間」期間への協力依頼。									

項 目		点 検 ・ 評 価																	
		活 動 内 容 等																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校安全マニュアルの毎年度改訂</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	学校安全マニュアルの毎年度改訂	0%	100%	100%				
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																
	22年度	27年度	27年度																
学校安全マニュアルの毎年度改訂	0%	100%	100%																
1 学 校 教 育 の 充 実	5 安 全 ・ 安 心 で 快 適 な 学 校 づ く り の 推 進	(3) 安 全 ・ 安 心 な 教 育 環 境 の 整 備	①学校施設の耐震化の推進	<p>【27年度】当該年度予定の設計・工事については、一部遅れが出たが年度内に着手出来た。</p> <p>【総括】年次計画を立て耐震化を進めてきたが、岐宿地区統合小学校改築工事への着手が計画より1年遅れてしまった。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福江小学校校舎改築工事 ・岐宿地区統合小学校建設工事 ・緑丘小学校校舎改築仮設通路設置工事 ・富江中学校体育館2次診断・耐震補強設計業務 															
			②大規模改造事業の推進	<p>【27年度】耐震化を優先し、年次的に実施している。</p> <p>【総括】屋根、外壁等の大規模改造については、必要に応じて随時実施した。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福江中学校体育館屋根及び外部改修工事 ・翁頭中学校校舎外壁改修工事 															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園の耐震化率</td> <td>50.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>小中学校の耐震化率</td> <td>44.7%</td> <td>84.0%</td> <td>77.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 目標値の年度は、第一期五島市教育振興基本計画策定時では耐震改修等事業の最終年度を平成25年度と予定していたため、その年度を計上している。</p>			指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	25年度	幼稚園の耐震化率	50.0%	100%	100%	小中学校の耐震化率	44.7%	84.0%	77.2%
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																
	22年度	27年度	25年度																
幼稚園の耐震化率	50.0%	100%	100%																
小中学校の耐震化率	44.7%	84.0%	77.2%																

項 目		点 検 ・ 評 価																												
		活 動 内 容 等																												
1 学 校 教 育 の 充 実	6 生 き る 力 を は ぐ く む 幼 児 教 育 の 推 進	(1) 小 学 校 と の 連 携 強 化	①幼稚園・保育園・小学校交流の実施	<p>【27年度】五島市幼保小連絡協議会（本会年1回、地区部会年2回）を開催し、交流の充実を図っている。</p> <p>【総括】すべての地区で交流活動が実施され、充実している。</p> <p>【27年度】幼保小連絡協議会・情報交換会・小学校主催の特別支援教育研修会への参加・交流学习など実施している。</p>																										
			②幼稚園教諭の研修の充実	<p>【27年度】五島市内外の研究・研修会へ積極的な参加を行い、専門性と指導力の向上を図った。</p> <p>【総括】各種研修会への参加や園内での伝達研修により充実が図られている。</p> <p>【27年度】国公立幼稚園研究会・教育課程研修会など。</p>																										
			③小学校教諭体験研修の実施	<p>【27年度】五島市幼保小連絡協議会各地区部会において検討。</p> <p>【総括】各地区で実施している交流活動を通して、互いの共通理解が図られてきている。</p> <p>【27年度】小学校での児童や教職員の交流活動は実施したが、体験研修を実施できなかった。</p>																										
			④公立幼稚園への学校訪問の実施	<p>【27年度】指導主事による訪問を実施し、幼稚園教育の更なる充実を目指し、支援・指導を行っている。</p> <p>【総括】幼児教育に関する研究発表や合同研修会を計画的に実施し、訪問にて支援・指導を行っている。</p> <p>【27年度】市教委指導訪問、授業参観、行事への参加、教育相談・就学相談の実施など</p>																										
			⑤幼稚園教育振興計画の策定	<p>【27年度】第二期五島市教育振興基本計画において「幼児教育の推進」として策定。</p> <p>【総括】公立幼稚園民営化及び私立幼稚園の認定こども園移行が進んでいる現状があり、第二期五島市教育振興基本計画に幼児教育を盛り込んで策定した。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小地区部会において交流活動を実施。 ・接続カリキュラムは、2地区で作成・実施。 																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園・保育園・小学校交流活動</td> <td>各園年2回</td> <td>5.5回</td> <td>各園年2回以上</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教諭資質向上研修会</td> <td>各職員年2回</td> <td>3回</td> <td>各職員年3回以上</td> </tr> <tr> <td>小学校教諭体験研修会（新規採用研修含む）</td> <td>年1回</td> <td>0回</td> <td>年2回以上</td> </tr> <tr> <td>公立幼稚園学校訪問事業</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回以上</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教育推進計画の策定</td> <td>研究・調査</td> <td>作成・実施</td> <td>作成・実施</td> </tr> </tbody> </table>				指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	幼稚園・保育園・小学校交流活動	各園年2回	5.5回	各園年2回以上	幼稚園教諭資質向上研修会	各職員年2回	3回	各職員年3回以上	小学校教諭体験研修会（新規採用研修含む）	年1回	0回	年2回以上	公立幼稚園学校訪問事業	年1回	年1回	年1回以上	幼稚園教育推進計画の策定	研究・調査	作成・実施	作成・実施
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値																											
	22年度	27年度	27年度																											
幼稚園・保育園・小学校交流活動	各園年2回	5.5回	各園年2回以上																											
幼稚園教諭資質向上研修会	各職員年2回	3回	各職員年3回以上																											
小学校教諭体験研修会（新規採用研修含む）	年1回	0回	年2回以上																											
公立幼稚園学校訪問事業	年1回	年1回	年1回以上																											
幼稚園教育推進計画の策定	研究・調査	作成・実施	作成・実施																											

項 目		点 検 ・ 評 価																
		活 動 内 容 等																
1 学 校 教 育 の 充 実	6 生 き る 力 を は ぐ く む 幼 児 教 育 の 推 進	(2) 就 学 前 教 育 、 保 育 環 境 の 整 備	①未就園児幼稚園 開放の実施	<p>【27年度】未就園児親子の遊び場所・仲間とのふれあいの機会を提供し、五島市における基礎教育の場になった。</p> <p>【総括】希望する未就園児親子に遊び場所や仲間とのふれあいの機会を提供することができている。</p>														
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福江幼稚園 毎週木曜日午前9時～11時に実施。 ・富江幼稚園 地域に未就園児が少なく、参加希望者がいないため未実施。 														
			②預かり保育の実施	<p>【27年度】利用希望者も多く、子ども支援・親支援等、子育て支援に効果的に活用されている。</p> <p>【総括】2園ともに、利用希望者も多く、子育て支援に効果的に活用されている。</p>														
			<ul style="list-style-type: none"> ・福江幼稚園 通常保育終了後、17時30分まで。 ・富江幼稚園 保育終了後、17時30分までの見守り事業及び長期休業中に実施した。 															
			③保育サービスと 体制の充実	<p>【27年度】特別支援教育支援員の配置等により特別支援教育の体制が整備されたことで支援方法が浸透し、一人一人の発達に応じた指導を行っている。また、幼稚園内外の親に対して保護者研修会を実施した。</p> <p>【総括】支援を要する園児への対応が充実してきている。</p>														
				<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員1園2名配置。 ・福江幼稚園：保護者研修会及び懇談会 ・富江幼稚園：保護者研修会及び懇談会 														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未就園児幼稚園解放参加登録数</td> <td>45人</td> <td>26人</td> <td>50人以上</td> </tr> <tr> <td>預かり保育利用数（利用者/園児数）</td> <td>70.0%</td> <td>91.0%</td> <td>80%以上</td> </tr> </tbody> </table>				指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	未就園児幼稚園解放参加登録数	45人	26人	50人以上	預かり保育利用数（利用者/園児数）	70.0%	91.0%	80%以上
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値															
	22年度	27年度	27年度															
未就園児幼稚園解放参加登録数	45人	26人	50人以上															
預かり保育利用数（利用者/園児数）	70.0%	91.0%	80%以上															

《重点目標 2》 とともに学びあう生涯学習の推進

項 目		点 検 ・ 評 価 活 動 内 容 等
2 生涯学習まちづくりの推進	1 学習機会の充実	<p>①学習機会の充実と広報活動の徹底</p> <p>【27年度】世代や学習集団ごとに講座学習会が開催された。 【総括】若年層・男性の受講が少なかった。</p> <p>【27年度】公民館、家庭教育、青少年、勤労青年、働く婦人等の受講生（延べ52,615人）</p>
		<p>②公民館運営の能力向上への支援</p> <p>【27年度】公民館関係職員の研修を計画的にできた。 【総括】公民館関係職員の研修を計画的にできた。</p> <p>【27年度】主事研修会（毎月）、市公連会議（年2回）、県公民館大会や職員研修参加。</p>
		<p>③人権啓発の推進</p> <p>【27年度】広報により住民への人権意識向上に努め、人権フェスティバルを開催した。 【総括】市民課と協力をしながら啓発に努めた。 【27年度】人権フェスティバル（1回）</p>

指 標 名	計画時数値	現状値	目標値
	22年度	27年度	27年度
地区公民館講座の学級数	130	182	継続
広報紙「生涯学習ごとう」の年間発行回数 ※H26.4廃刊	6回	五島市HPフェイスブック活用	継続
人権啓発研修会の年間回数	1回	1回	継続

2 学習の場の充実	①公民館施設の充実	<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で利便性の高い公民館づくりに努めた。 ・玉之浦町・崎山地区・本山地区公民館ヘシステムキッチンを設置。 <p>【総括】予算が嵩むことから大規模な改修が出来なかった。</p> <p>【27年度】奥浦地区公民館トイレ手摺設置、施設及び備品修理等</p>
	②町内公民館などの施設充実への支援	<p>【27年度】地区の要望により計画的に実施できた。</p> <p>【総括】地区の要望により計画的に実施できた。</p> <p>【27年度】施設整備6件、設備7件</p>
	③図書館等の充実	<p>【27年度】図書資料の整備と新図書館建設計画を再検討中である。</p> <p>【総括】計画的に実施できた。</p> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書の整備 ・新図書館建設計画再検討。

項 目		点 検 ・ 評 価													
		活 動 内 容 等													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書率 (各学校の平均)</td> <td>114%</td> <td>143% (平成27年度)</td> <td>継続</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	蔵書率 (各学校の平均)	114%	143% (平成27年度)	継続		
指 標 名	計画時数値	現状値		目標値											
	22年度	27年度	27年度												
蔵書率 (各学校の平均)	114%	143% (平成27年度)	継続												
2 生涯 学習 まち づくり の 推 進	3 学習成果の地 域への還元	①学習成果の地域への還元	<p>【27年度】学習成果を公民館や地域へ活かす活動が広がった。</p> <p>【総括】計画以上の結果が得られた。</p> <p>【27年度】受講経験者の公民館講座への協力、施設訪問、ボランティア活動者の増加。</p>												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座生による学校等での発表・指導回数</td> <td>0回</td> <td>92回</td> <td>20回</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	講座生による学校等での発表・指導回数	0回	92回	20回	
指 標 名	計画時数値	現状値	目標値												
	22年度	27年度	27年度												
講座生による学校等での発表・指導回数	0回	92回	20回												

《重点目標 3》 豊かな心と体をはぐくむスポーツの・文化の推進

項 目		点 検 ・ 評 価															
		活 動 内 容 等															
4 潤いある文化のまちづくりの推進	1 文化芸術活動の推進	<p>①文化団体への支援</p> <p>【27年度】文化団体の活動成果を発表できる環境（四館合同発表会・老人ホーム・学校等）づくりを支援した。</p> <p>【総括】補助金等も含め活動への支援が出来た。</p> <p>【27年度】まちづくり協議会からの助成</p>															
		<p>②芸術・文化にふれる機会創出</p> <p>【27年度】様々な芸術文化事業の機会づくりや支援等を行った。</p> <p>【総括】限られた予算の中で芸術・文化にふれる機会創出が出来た。</p> <p>【27年度】青少年劇場、劇団四季「こころ劇場」、山本二三&新井満対談と朗読の会、長崎県美術館名品展移動美術館、長崎県展移動展、市民文化祭、西部航空音楽隊演奏会、ヨーロッパ・ピアノ五重奏団五島公演、青少年音楽セミナーin五島などの開催。</p>															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区文化祭の年間開催回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>青少年劇場の年間開催回数</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>継続</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	地区文化祭の年間開催回数	1回	1回	継続	青少年劇場の年間開催回数	1回	2回	継続
指 標 名	計画時数値	現状値		目標値													
	22年度	27年度	27年度														
地区文化祭の年間開催回数	1回	1回	継続														
青少年劇場の年間開催回数	1回	2回	継続														
2 歴史的遺産、伝統文化の保存・継承	①文化財の発掘・適正管理	<p>【27年度】文化財指定のための調査研究、適正保護のための定期的な巡視を行った。</p> <p>【総括】計画的に実施できた。</p> <p>【27年度】新規指定の取り組み（国選択から国指定へ1件）を行い、貴重な文化財の保護に努めてきた。</p>															
	②伝統芸能の継承	<p>【27年度】保護継承できる環境づくりへの支援に努めた。</p> <p>【総括】計画的に実施できた。</p> <p>【27年度】無形民俗保存団体（1団体）への助成。一部まちづくり協議会からの助成。</p>															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標 名</th> <th>計画時数値</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>27年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市が新たに指定した文化財の件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>30件</td> </tr> </tbody> </table>	指 標 名	計画時数値	現状値	目標値	22年度	27年度	27年度	市が新たに指定した文化財の件数	0件	0件	30件				
指 標 名	計画時数値	現状値		目標値													
	22年度	27年度	27年度														
市が新たに指定した文化財の件数	0件	0件	30件														

《重点目標 4》 子どもをはぐくむ家庭・地域の教育力の向上

項 目		点 検 ・ 評 価			
		活 動 内 容 等			
5 育 ち あ う ま ち づ く り の 推 進	1 青少年の健全 育成	①体験活動の実施	【27年度】体験活動を行う機会を提供できた。 【総括】計画的に実施できた。 【27年度】体験活動・ボランティア活動支援センターの利用者(延べ111名)		
		②育成協への支援	【27年度】育成協団体が活動しやすい環境づくりに努めた。 【総括】計画的に実施できた。 【27年度】市連絡協議会(1)、地区団体(10)		
	指 標 名		計画時数値 22年度	現状値 27年度	目標値 27年度
	海外交流体験学習の年間実施回数 ※平成23年度から国内体験学習として実施している		1回	1回	継続
	2 子どもたちの 育ちの場の充 実	①放課後子ども教室の運営 主体への支援	【27年度】放課後や休日に安心して活動できる場づくりに努めた。 【総括】計画的に実施できた。 【27年度】放課後子ども教室の開設地区(11)		
		②子どもが活字に親しむ機 会づくりの支援	【27年度】子どもたちの図書館等の利用促進を図った。 【総括】計画以上の結果が得られた。 【27年度】公民館図書室利用(10,992冊)、図書館利用(159,033冊)		
	指 標 名		計画時数値 22年度	現状値 27年度	目標値 27年度
	放課後子ども教室運営主体研修会の年間開催回数		0回	1回	1回
読み聞かせ会の年間開催回数		17回	24回	20回	
3 成人教育の機 会充実	①PTA活動への支援	【27年度】PTA(保護者)の学習の場づくりを支援した。 【総括】計画的に実施できた。 【27年度】運営費及び研究大会への補助、家庭教育学級の開設(5学級)			
	②成人の学ぶ機会の創出	【27年度】世代のニーズに応じた講座の企画を行った。 【総括】若年層・男性の受講が少なかった。 【27年度】公民館を主体とした成人講座の企画。			
指 標 名		計画時数値 22年度	現状値 27年度	目標値 27年度	
家庭教育学級の学級数		6	5	継続	